

2007年(第18回)福岡アジア文化賞

学術研究賞

シーサク・ワンリボードム
(Srisakra VALLIBHOTAMA)

マハ・チャクリ・シリントーン王女人類学センター理事
1938年6月2日生(69歳)
タイ

略歴

- 1938 タイ、バンコクに生まれる
- 1960 チュラーロンコーン大学卒業(英語・フランス語)
- 1961-71 シンラパコーン大学考古学部講師(タイ史)
- 1971 オーストラリア、西オーストラリア大学修士号(人類学)
- 1971-72 チェンマイ大学社会科学部社会学・人類学科客員講師
- 1972-77 シンラパコーン大学大学院タイ研究科講師
- 1974- 学術季刊誌「ムアン・ポーラーン・ジャーナル」編集長
- 1977 シンラパコーン大学考古学部人類学科長
タイ教育省芸術局とユネスコが共同実施した「スコタイ歴史公園開発プロジェクト」にて主任社会学者を務める
- 1980 アメリカ、コーネル大学東南アジアプログラム客員教授
- 1986 京都大学東南アジア研究センター(現 研究所)客員研究員
- 1986-98 シンラパコーン大学考古学部人類学科長兼准教授(人類学)
- 1989-96 国家文化委員会(現 タイ文化省)においてタイ中部文化研究小委員会名誉委員長
- 1995- レック・ブラパイ・ウィリヤパン財団上席顧問
- 1996 タイ研究基金上席研究員
- 2001- マハ・チャクリ・シリントーン王女人類学センター理事
- 2002 シンラパコーン大学より名誉博士号(人類学)
- 2005 ワライラック大学より名誉博士号(人類学)

主な著作 出版社、出版地のないものはすべてマティチョン出版,バンコクで出版。言語の表記のないものはタイ語にて出版。

- 「タイ史におけるアユタヤ王国」(所収『タイ社会科学季刊論集』1967年6月特別号,タイ社会科学学会,バンコク)
- 『私たちの王国 アユタヤ』1984(第7版,2005)
- 「ドヴァーラヴァティー遺跡における政治的・文化的連続性」[英語](所収『9世紀から14世紀の東南アジア』東南アジア研究所,シンガポール、オーストラリア国立大学,キャンベラ,1986)
- 「メール山(須弥山) タイ社会における連続性と変化の象徴」[英語](所収『アジアの民族とその文化 連続性と変化』ソウル大学出版会,ソウル,1986)
- 『タイにおける仏教遺跡・ストゥーパの重要性』ムアン・ポーラーン出版,バンコク,1990
- 『東北部の文明遺跡 タイ史を塗り替える考古学上の新たな痕跡』1990(第4版,2001)
- 『シャム 先史時代からアユタヤまでのタイの歴史的背景』1991
- 『古代都市への探究 ムアン・ポーラーン・ジャーナル論稿集(1974-93)』ムアン・ポーラーン出版,バンコク,1995
- 『タイ史における社会文化的発展』アマリン印刷グループ,バンコク,2001
- 『文明発祥の地 タイ半島部』2003
- 『鉄~2500年前の「革命的金属」 タイにおける鉄の時代、技術と社会の発展』2005